

## 九州体育・保健体育ネットワーク研究会 宮崎チキン南蛮ラウンド

【期 日】令和2年12月13日（日）13：30～16：30

【場 所】宮崎県教育研修センター 研修ホール

【参加者】26名（会場参加者21名、オンライン参加者5名）

県内19名（大学1名、高校校長1名、教育委員会5名、高校2名  
中学1名、小学校5名、宮崎大学生4名）

県外 2名（大学2名）

オンライン5名（大学2名、小学校2名、大学生1名）全員県外

【テーマ】つながりのある体育・保健体育学習

### 【内 容】

#### 1 実践発表（30分間）

県学体研（九州学体研）の取組

- (1) 小学校 緒方 和大（宮崎市立大宮小）
- (2) 中学校 倉掛 啓輔（宮崎大学附属中）
- (3) 高等学校 池田 美華子（県立宮崎南高校）

#### 2 グループディスカッション（15分）

自己紹介等を含めて、発表に対する質疑応答等を行いました。

#### 3 講 義（30分） 宮崎大学 三輪 佳見 教授

「学習のつながりを求めて」宮崎大学附属小中の取組

球技「バレーボール」における小学校と中学校の取組について、その成果と課題を中心に講義を頂きました。具体的な実践による事例をもとに講義をしていただき、示唆に富む多くの情報を提供していただきました。

#### 4 協 議（30分） 「異校種を結びつけるには」

ポストイットを使いながら、異校種のメンバーの組合せによるグループ協議を行いました。参加者のそれぞれの校種による視点から、多様な意見が出され、充実した協議となりました。

#### 5 発 表（20分）

協議した内容を各グループの代表から発表してもらいました。オンラインでの参加者にも、その代表者から発表をしていただきました。

#### 6 まとめ（20分） 桐蔭横浜大学 佐藤 豊 教授

学習指導要領における系統性や陸上競技における汎用的能力及び体力向上におけるつながりのある指導内容など、多くの課題を提示していただきながら、分かりやすい資料と解説で「つながりのある体育・保健体育学習」についてまとめていただきました。

#### 7 その他

コロナ渦の中での開催であり、対面式とオンライン方式を併せたハイブリッド方式で実施しました。また、県外からの参加者は別部屋を設けるなど、感染症対策を配慮しながら研修を行いました。検温や消毒等の徹底を行いながらの実施は苦労もありましたが、それ以上に学ぶことが多く、大変有意義な研修会となりました。